

報道関係者各位

2018年6月12日

お部屋探しサイト「いい部屋ネット」への画像登録にAIを試験導入 6月11日(月)より物件画像の分類からWebサイトへの登録作業までを自動化

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、6月11日(月)より、お部屋探しサイト「いい部屋ネット」への物件写真登録に、働き方改革の一環としてAI(人工知能)を活用した物件写真自動掲載システムの試験導入を開始します。

現在、年間約30万件^{※1}の登録作業が発生している中、今回AIを導入することで、これまで営業スタッフが手作業で各カテゴリに分類しWebサイトへ掲載登録していた作業が自動化されます。これにより、1物件あたり約70%、1カ月あたりに換算すると約3,000時間の作業時間が短縮できる見込みです。

当社グループの大東建託パートナーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐藤功次)の19営業所で試験導入し、7月初旬より全179営業所^{※2}へ展開予定です。

※1 2017年度賃貸仲介件数 29.6万件(仲介専門スタッフ約1,300名)

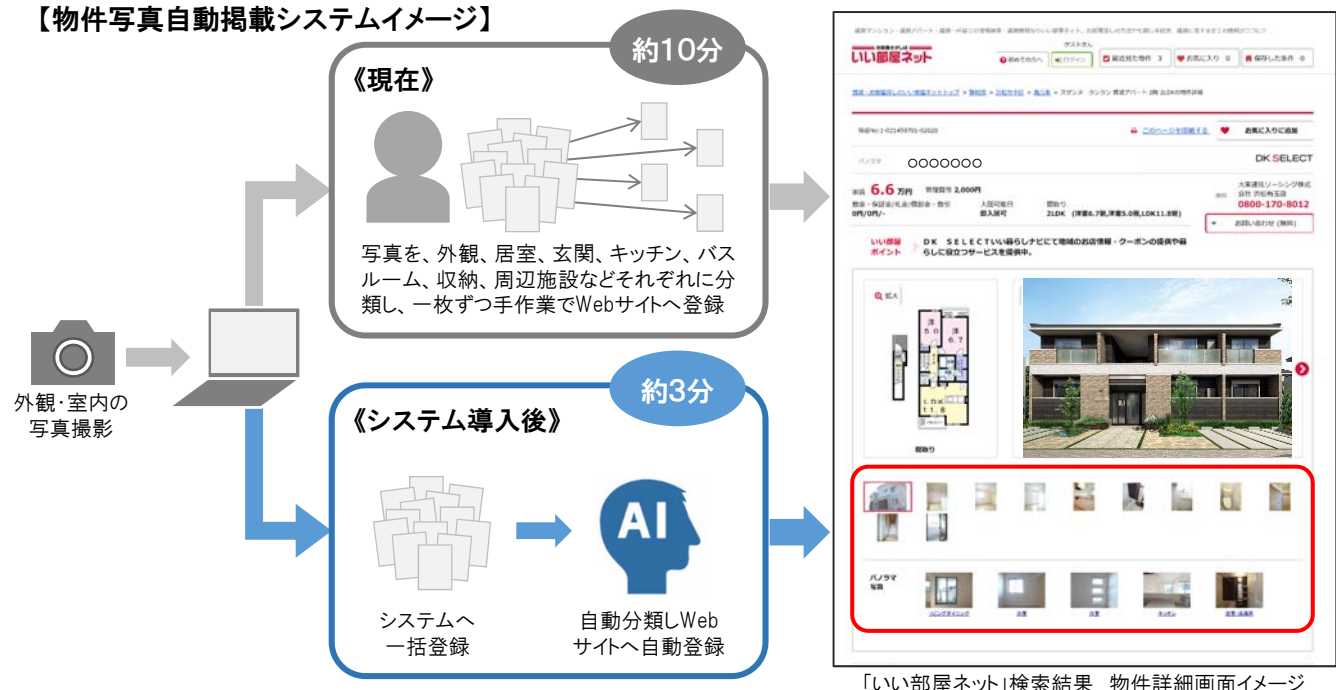
※2 2018年6月1日時点

■営業スタッフによる手作業をAIで自動化し、作業時間を大幅に削減

当社グループが管理する賃貸住宅は現在103万戸^{※2}を超え、そのうち入居募集中のお部屋は「いい部屋ネット」などのお部屋探しサイトに掲載しています。1部屋あたり約20枚の外観・室内写真を掲載していますが、掲載写真は営業スタッフが一枚ずつ手作業でリビング、キッチン、玄関、洗面所などのカテゴリに分類し、システムへ登録する必要がありました。

今回導入するシステムを利用すると、フォルダに部屋ごとの写真をまとめて登録するだけで、AIが自動でそれらの画像を各カテゴリに分類します。さらに、分類された画像をWebサイトに掲載する作業も自動化されるため、営業スタッフの作業時間が大幅に削減されます。

【物件写真自動掲載システムイメージ】



〈本件に関するお問い合わせ〉

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174